

一高専学第 1 1 号  
平成 2 6 年 4 月 2 日

高等専門学校 関係各位

全国高等専門学校  
第 25 回プログラミングコンテスト委員会  
委員長 一関工業高等専門学校長 柴田 尚志  
[公 印 省 略]

#### 自由部門におけるパテント審査の実施について（ご案内）

日頃より、高専プロコンにご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

高専プロコンでは、独創性に優れた作品が数多く発表され、産業界からも高く評価されております。この中には特許取得や商品化につながったものも多く、広くこれらの活動を支援していくことが重要です。しかし、応募側がシステムの有用性を評価していない、公表（本選）までに必要な手続きをとっていないなど、有用なアイデアが埋もれてしまっている場合も少なくありません。

そのため、第 25 回一関大会における取り組みとして、自由部門への応募テーマに限りパテント審査を実施します。自由部門へ応募される場合は、以下の注意事項に従い申請書類を提出頂くようお願い致します。これらの権利処理に関する知識は高専の学生にとっても有用なものですので、広く応募頂きますようご案内下さい。

#### 注意事項

- ・ 自由部門への応募チームに限定し、予選を通過した作品（テーマ）のみパテント審査の対象とする。
- ・ 権利処理に関する教育的視点および、本選までの時間的な制約から自由部門の全応募チームに提出を強く勧めるものとする。
- ・ 審査の申請書類は、自由部門の予選審査には利用しない。
- ・ 審査は高専機構から専門的な知識を有するコーディネータに依頼する。
- ・ 審査結果は審査後、速やかに応募者に通知する。
- ・ 審査の結果、特許出願に値する発明であると認められた場合の手続きについては、応募者の判断に委ねるものとする。
- ・ 申請書類は、別紙様式「パテント審査申請様式」に従うものとする（申請様式の電子ファイル及びサンプルについては、高専プロコン公式サイトに掲載する）。
- ・ A4 判 4 ページ以内にまとめること。
- ・ pdf ファイル（10MB 以内）とし、オンライン登録システムを利用して予選応募資料提出時に同時に、提出すること。

問い合わせ先： 全国高等専門学校第 25 回プロコン委員会事務局  
一関工業高等専門学校 学生課学生支援係  
Tel : 0191-24-4718 FAX : 0191-24-4530

## パテント審査申請様式

### 【製作者】

- ※ 製作に関わった全てのメンバーを記載すること。
- ※ 可能であれば、本発明に係る分担箇所や持ち分も記載すること。  
○○高等専門学校  
○○○○学科○年 ○○○○ (分担：○○○○○総括、持分○○%)

### 【指導教員】

○○○学科 ○○○○

### 1. 発明内容

#### 【発明名称】

○○○○○

#### 【発明の課題の新規性】

- ※ その技術分野における先行技術の問題点について、具体的に記載すること。
  - 1) 概要
  - 2) 新規性

### 2. 従来技術（先行技術（特許）調査）

- ※本発明に関連する従来技術並びに類似する技術を記載すること。
- ※ 独立行政法人工業所有権情報・研修館 (INPIT) が提供する「特許電子図書館 (IPDL)」を用いて、本発明に係る先行技術の有無、類似技術の有無についても調査し、その結果と対比する形で優位性や進歩性、新規性等について記載すること。

### 3. 従来技術の課題

### 4. 課題の解決手段

- ※ その技術分野における先行技術と対比する形で、今回の発明を具体的に記載すること。

### 5. 発明の効果

- ※ 上述4による具体的な効果を記載すること。
- ※ 上述3の裏返しの関係となることを留意すること。

### 6. 市場規模、製品化の実現性

- ※ 本発明に関して、想定されるライセンス先や他への応用展開の可能性について記載すること。

### 7. 学会発表状況

発表予定あり / 発表済み / 発表予定無し  
発表ありの場合：学会名、論文名、発表日を記載

### 8. 発明の概要図

- ※ プログラミングを主とする発明については、必ずフローチャートを記載すること。
- ※ 製品技術の発明については、その構造等が把握出来るよう、図面等を記載すること。

一高専学第12号  
平成26年4月2日

高等専門学校， 協賛企業 関係各位

全国高等専門学校  
第25回プログラミングコンテスト委員会  
委員長 一関工業高等専門学校長 柴田 尚志  
[公 印 省 略]

活躍するプロコンOB等に関する情報提供のお願い（依頼）

日頃より、高専プロコンにご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

高専プロコン25周年を記念して、「活躍するプロコンOBたち」や「プロコンから生まれた商品や社会的に活用されているソフトウェア」の情報を集約し、本選でのポスター展示やプロコン公式サイトへの掲載を計画しております。

つきましては、貴校・貴社において「活躍するプロコンOBたち」や「プロコンから生まれた商品や社会的に活用されているソフトウェア」を別紙様式1，様式2にて、ご推薦くださるようお願い申し上げます。入賞されていなくても結構ですので、様式1，2を複製の上、多数ご推薦くださるようお願いいたします。

送付先： 全国高等専門学校第25回プロコン委員会事務局  
一関工業高等専門学校 学生課学生支援係 FAX：0191-24-4530  
E-mail： [jimu25@procon.gr.jp](mailto:jimu25@procon.gr.jp)

※ご回答は、推薦がない場合にも5月末までをお願いいたします。

問い合わせ先： 全国高等専門学校第25回プロコン委員会事務局  
一関工業高等専門学校 学生課学生支援係  
Tel：0191-24-4718 FAX：0191-24-4530

## 活躍するプロコンOBたち

## 【記入例】

氏名	〇〇 〇〇
E-Mail	〇〇@〇〇〇〇
電話番号	xxx-xxx-xxx
現在の所属	〇〇株式会社
プロコン出場年度・部門	平成〇〇年度 〇〇部門
推薦者名（所属）	〇〇 〇〇（〇〇高専）
推薦者 Email	〇〇@〇〇〇〇
推薦者電話番号	xxx-xxx-xxx
推薦理由（簡潔に）	〇〇社〇〇部門において、活躍している。

氏名	
E-Mail	
電話番号	
現在の所属	
プロコン出場年度・部門	
推薦者名（所属）	
推薦者 Email	
推薦者電話番号	
推薦理由（簡潔に）	

このページを複製して、多数ご回答ください。

ご回答は、推薦がない場合にも5月末までをお願いいたします。

送付先：E-mail: [jimu25@procon.gr.jp](mailto:jimu25@procon.gr.jp) FAX : 0191-24-4530

メールの件名は「活躍するプロコンOBたち（所属・氏名）」としてください。

プロコンから生まれた商品や社会的に活用されているソフトウェア

【記入例】

ソフトウェア名	Touch Volley
関連するプロコン作品名	ボールはネットを超え、データはネットを超える
プロコン出場年度・部門	平成15年度 自由部門
紹介者名（所属）	〇〇 〇〇（〇〇高専）
紹介者 Email	〇〇@〇〇〇〇
紹介者電話番号	xxx-xxx-xxx
ソフトウェアの紹介 （簡潔に）	<p>現在では全日本女子バレーボールチームの真鍋監督が iPad を用いて選手へ指示を行うことが有名ですが、トップチームが利用するスカウティングシステムは高価で操作が複雑です。</p> <p>Touch Volley はタッチパネルを搭載したノートパソコンを用いたスカウティングシステムで、直感的な簡単操作で選手番号やボールの軌道をタッチするのみでデータ収集・分析可能としました。</p> <p>現在は、iPad に移植し App Store にて無料で公開しています。</p>

ソフトウェア名	
関連するプロコン作品名	
プロコン出場年度・部門	
紹介者名（所属）	
紹介者 Email	
紹介者電話番号	
ソフトウェアの紹介 （簡潔に）	

このページを複製して、多数ご回答ください。

ご回答は、推薦がない場合にも 5 月末までをお願いいたします。

送付先：E-mail: [jimu25@procon.gr.jp](mailto:jimu25@procon.gr.jp) FAX : 0191-24-4530

メールの件名は「プロコンから生まれた商品等（所属・氏名）」としてください。

高等専門学校 関係各位

全国高等専門学校  
第25回プログラミングコンテスト委員会  
委員長 一関工業高等専門学校長 柴田 尚志  
[公 印 省 略]

「高専プロコンへの提言」の募集について（依頼）

日頃より、高専プロコンにご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

高専プロコン25周年を記念して、「高専プロコンへの提言」を以下の要領で募集することに致しました。つきましては、貴校において、学生・教職員に広く周知していただき、多数の応募がありますよう、ご配慮を頂きたくお願い申し上げます。

【募集要領】

(1) テーマ 「高専プロコンへの提言」

(2) 趣旨

高専プロコン25周年を記念して、高専プロコンをさらに発展させるための方策やアイデア、あるいは将来のプロコンのあるべき姿について、前向きで建設的な提言を広く募集し、今後のプロコン運営に反映させる。

(3) 応募資格

全国の国公立高専に在籍する学生（専攻科生を含む）または卒業・修了生

(4) 募集期間

平成26年6月2日(月)～平成26年7月22日(火)

(5) 応募方法

- ・ A4判横置き（横書き）10ページ以内に提言をまとめてください。
- ・ PowerPointなどのツールを利用し、図や画像も入れて、見やすく分かりやすい形でまとめてください。
- ・ 文字は14ポイント以上を使用してください。
- ・ 1ページ目にタイトル、所属、氏名を記入してください。
- ・ pdfファイル（5MB以内）で提出してください。
- ・ ファイル名は「所属・氏名.pdf」としてください。
- ・ 以下のメールアドレスへ添付ファイルで送信してください。
- ・ メールの件名は「高専プロコンへの提言（所属・氏名）」としてください。

送付先： 全国高等専門学校第25回プロコン委員会事務局  
一関工業高等専門学校 学生課学生支援係  
E-mail: [jimu25@procon.gr.jp](mailto:jimu25@procon.gr.jp)

(6) 審査

全国高等専門学校第25回プロコン委員会で厳正に審査し、最優秀作品1点、優秀作品2点程度を選定します。

(7) 表彰

最優秀作品と優秀作品にはそれぞれ賞状と副賞を贈ります。表彰は本選1日目の学生交流会(10/18(土)の夕方を予定)の中で行う予定です。

問い合わせ先： 全国高等専門学校第25回プロコン委員会事務局  
一関工業高等専門学校 学生課学生支援係  
Tel : 0191-24-4718 FAX : 0191-24-4530